



紫雲児の心

仲間とともに活動できる喜び

校長 五十嵐 めぐみ

危険な暑さが続いたこの夏は体育祭練習も熱中症対策が最重要課題でしたが、練習・準備から当日まで、生徒一人一人が自分の役割を果たし、体調不良などで残念ながら参加できない仲間の分もカバーしながら活動し、協力して最高の体育祭を創り上げました。

9月1日、始業式後に全校生徒で「巨大パネル」を制作し、体育祭当日にグラウンドに掲げました。巨大パネルに込められた思い（概要）を紹介します。

長い間、新型コロナウイルスの影響で仲間と関わる活動が制限されてきました。そこで、生徒会では学校が一つになれる企画として巨大パネル制作を企画しました。図案を24分割し、全校生徒と先生方の縦割り班で分担して完成させました。協力して制作した巨大パネルの図案には、現在、過去、未来の3つの思いが込められています。基本は屏風絵などで好んで使われる「竜虎図」です。

竜のいる所に雲が沸き、虎のいる所に風が吹き、2つの英雄が互いに引きつけ合い戦う勇ましい姿と、現在、私たちが体育祭で青軍・赤軍に分かれて戦う様子を重ね合わせています。「応援」「競技」「パネル」の3つの賞と「総合優勝」を狙う竜と虎が、体育祭を鼓舞します。

次は過去への思いです。この絵は私たちの祖先の偉業に対する敬意を表しています。度重なる水害や飢饉に苦しめられてきたこの地区を、豊かな水田に生まれ変わらせ、ふるさとの礎を築いた偉大な祖先たち。大自然の力と災害を克服する人々の情念に対する感謝と敬意を表しています。

そして未来です。令和7年度、紫雲寺中学校区の3小学校が統合します。「出身小学校がなくなってしまう」と思うと寂しく感じられます。しかし、「新しく大きく生まれ変わる」と前向きに捉え、3つの小さな光が大きな1つの光に変わっていくように表しています。その願いを含め、この図の中には紫雲寺、米子、藤塚の3小学校と紫雲寺中学校の校章の一部がモチーフとして埋め込まれています。

巨大パネルは体育館に展示します。嬉しい時、悲しい時、楽しい時、苦しい時、この巨大パネルを見て仲間とともに活動できることの喜びと感謝の気持ちを思い出し、がんばっていきましょう。

